

第4回 公共貨幣フォーラムシンポジウム

未来の貨幣制度とEPMトークン

デジタル通貨技術、ブロックチェーンの進展により、様々な仮想通貨、地域通貨、リブラのような企業通貨がリアルなものとなってきました。今回はその中で、今、最も熱い注目を集める電子公共貨幣、EPM トークン等をテーマに開催いたします。お金はどのようにして生まれ、消えていくのか。いまの貨幣制度(債務貨幣)の公共化で、行き詰まった社会にブレークスルーを生む道は無いかなど、検討を行います。

詳細はQRコード先をご覧ください。 <http://public-money.earth/2019/08/09/post20190809001/>



第4回 公共貨幣フォーラムシンポジウム 未来の貨幣制度とEPMトークン

2019年 9月2日(月) 12:40-18:00

12:10 開場 12:40 開会

衆議院第一議員会館 大会議室(地下1F)

参加費無料

主催 一般社団法人 公共貨幣フォーラム

<http://public-money.earth/>

協賛 共和バンド <http://kyowa.band>

我々公共貨幣フォーラムではミッションとして以下の4つを上げて活動しています。

1. 貨幣供給量が安定し、バブルや不況(失業)が発生しない社会。
2. 政府債務がゼロとなり、健全な財政運営が行われる社会。
3. 所得格差が解消して、「健康で文化的な生活」が営まれる社会。
4. 地球環境に優しい持続可能で公正な社会。

世界を取り巻く環境は、反緊縮の政治の流れ、AI時代に相応しい貨幣制度の模索を始めております。そして広くデジタルデータについてのGDPRのような法律、政治の世界では直接民主の流れも出てきています。それらを含め皆様と「未来の貨幣制度とEPMトークン」について検討したいと思います。

PROGRAM

■ 第一部 現在の貨幣制度の問題と未来の貨幣制度

基調講演 公共貨幣による日本の新国生み

招待講演 反緊縮の政治と経済学における公共貨幣論

招待講演 Cレジーム-AI時代に相応しい貨幣制度ー

座長 下田直能

山口薫

朴勝俊

井上智洋

■ 第二部 電子公共貨幣トークンのアーキテクチャ

電子公共貨幣 EPM の7つのシステムプロトコルについて

ブロックチェーン Iroha による EPM トークンの実装に向けて

座長

三木卓

生島高裕

武宮誠

■ 第三部 世界の各国政治の流れとデジタルデータの趨勢(公共貨幣の背景)

今なぜ公共貨幣が政治のドメインに姿を現したか

ゆりかごから墓場までのプライバシー~3つの課題

座長 生島高裕

首藤信彦

折田明子

■ 第四部 パネルディスカッション 貨幣の未来

予定の一部を変更する可能性があります。ご了承ください。

座長

首藤信彦

問い合わせ先

publicmoneyforumjapan@gmail.com

衆議院第一議員会館へのアクセス

国会議事堂前 ●丸ノ内線 ●千代田線 1番出口 徒歩3分

永田町 ●有楽町線 ●南北線 ●半蔵門線 1番出口 徒歩5分

溜池山王 ●南北線 ●銀座線 5番出口 徒歩8分



当日は入口で担当の者がご案内いたします。遅れていらっしゃるご予約の方はあらかじめご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。